

# マレーシアで与野党逆転、初の政権交代

18年5月9日、マレーシアで下院総選挙が行われ、マハティール元首相率いる野党連合・希望連盟が勝利した。ナジブ首相には、国策投資会社・1MDBから7億ドルが振り込まれた横領疑惑が浮上していた。下院は定数222で、小選挙区制で争われる。獲得した議席数は希望連盟が121議席。国民戦線79だった(表)。これにより、マレーシア独立以来初の選挙による政権交代が実現した。

## ◇多民族国家で順調な経済成長◇

マレーシアは、立憲君主制国家である。1957年に独立しマラヤ連邦となる。63年にマレーシアが成立。民族的には、マレー系67%、中国系25%、インド系7%。宗教的には、イスラム教61%、仏教20%、キリスト教9%、ヒンズー教6%と多彩。マレーシアはASEANの中でも一人当GDPがシンガポール、ブルネイに次いで、第3位の9360ドルになっている。16年の産業構造も、先進国に近づいている(図1)。貿易も、特定の国に偏ることなくバランスが取れている。経済は、順調に成長を続けている(図2)。失業率、インフレ率は近年安定している(図3)。

## ◇マレーシア政治の展望◇

ナジブ首相の与党連合は、低所得者向け給付金制度の拡充、最低賃金の引き上げなど14項目の公約を掲げた。マハティール元首相の野党連合は、物品・サービス税に代わる付加価値税の導入など公約10項目を掲げて選挙戦を戦った。公約を見ると“ポピュリズム選挙”と批判があがるのもうなずける。事前の予想では、与党が勝利するか互角との見方が多かったが、結果は野党連合の勝利となった。選挙の結果を決めたのは、経済情勢や公約ではなく、ナジブ首相の汚職疑惑とマハティール元首相に対するマレーシア国民の根強い人気であった。92歳と高齢のマハティール新首相は、後継首相にアンワル元副首相を指名することを明らかにしている。そのためには、恩赦で釈放されたアンワル氏が国会議員にならねばならない。どのようなプロセスで、いつそれが実現するかも注目点だ。

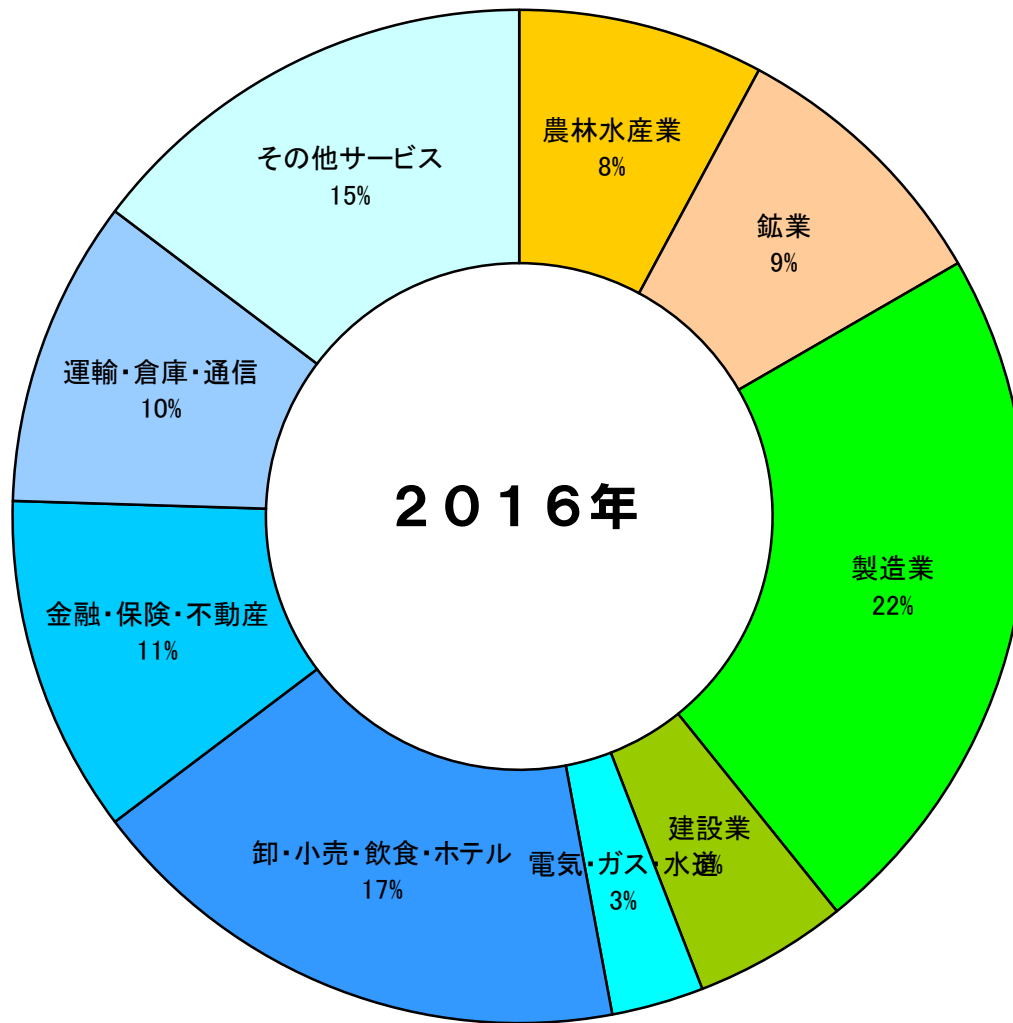
## ◇ASEAN諸国に与える影響◇

選挙が公正に行われ、選挙結果に基づいて政権交代がなされるのは、先進民主主義国では当たり前のことだ。しかし、平和の共同体として注目が集まっているASEANの中にも様々な政治体制の国がある。シンガポールは一党制から、現在は多党制の国になっている。タイは、選挙により政権交代が発生する国だったが、与党と野党の政治対立が激しく、14年に軍がクーデターで暫定政権を樹立した。カンボジアも多党制の国のはずだったが、与野党逆転の可能性が出て来たため、野党系のマスコミ潰し、野党禁止の措置が取られ国際的な批判を浴びている。政治体制はそれぞれの国の国民が決めることだが、今回マレーシアで示された政権交代は、長い目でみてASEAN諸国に良い影響を与えるだろう。

# 表 マレーシア総選挙結果

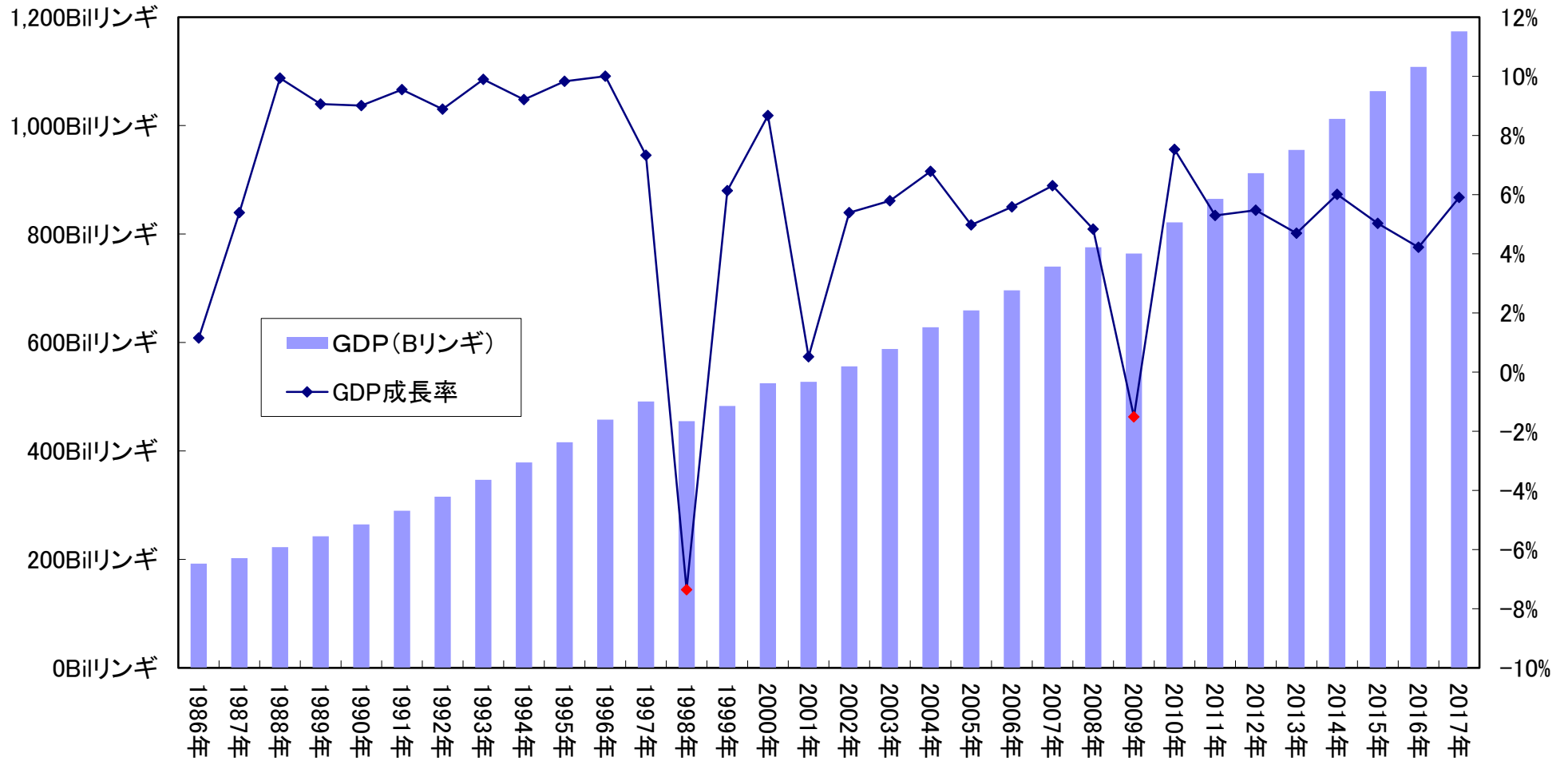
|                              | 与党連合                    | 野党連合                           | その他                    |
|------------------------------|-------------------------|--------------------------------|------------------------|
| 2004年総選挙<br>投票率74.98%        | 442万票<br>63.9%<br>198議席 | 166万票<br>24.1%<br>8議席          | 82万票<br>12.0%<br>16議席  |
| 2008年総選挙<br>投票率74.98%        | 408万票<br>51.4%<br>140議席 | 379万票<br>47.4%<br>82議席         | 6万票<br>1.2%<br>0議席     |
| 2013年総選挙<br>投票率84.84%        | 523万票<br>47.4%<br>133議席 | 562万票<br>50.9%<br>89議席         | 19万票<br>1.8%<br>0議席    |
| <b>2018年総選挙</b><br>投票率82.32% | 408万票<br>33.8%<br>79議席  | 578万票<br>47.9%<br><b>121議席</b> | 220万票<br>18.3%<br>22議席 |

# 図1 GDP構成



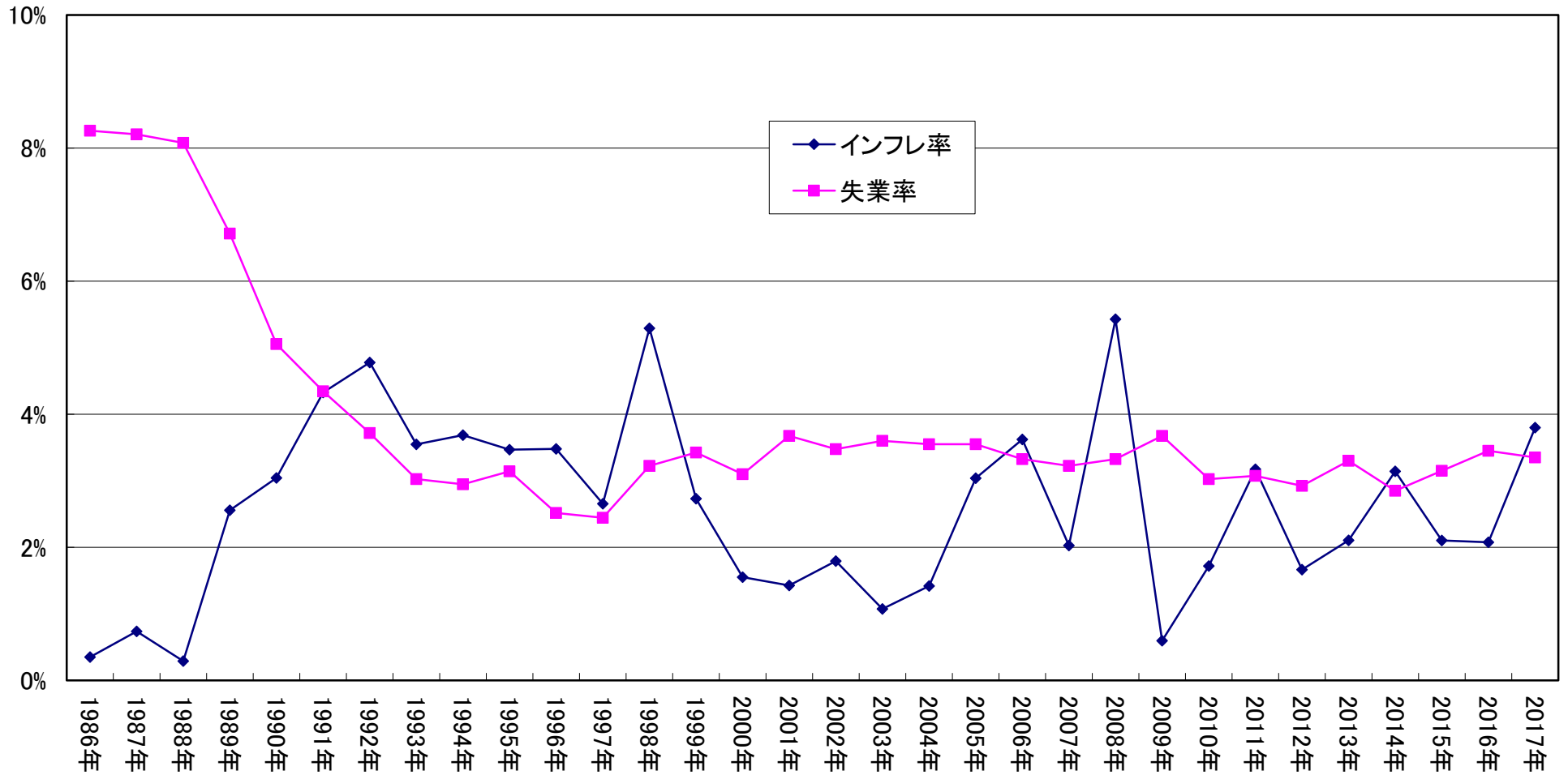
# 図2 GDP成長率

マレーシアGDPと成長率

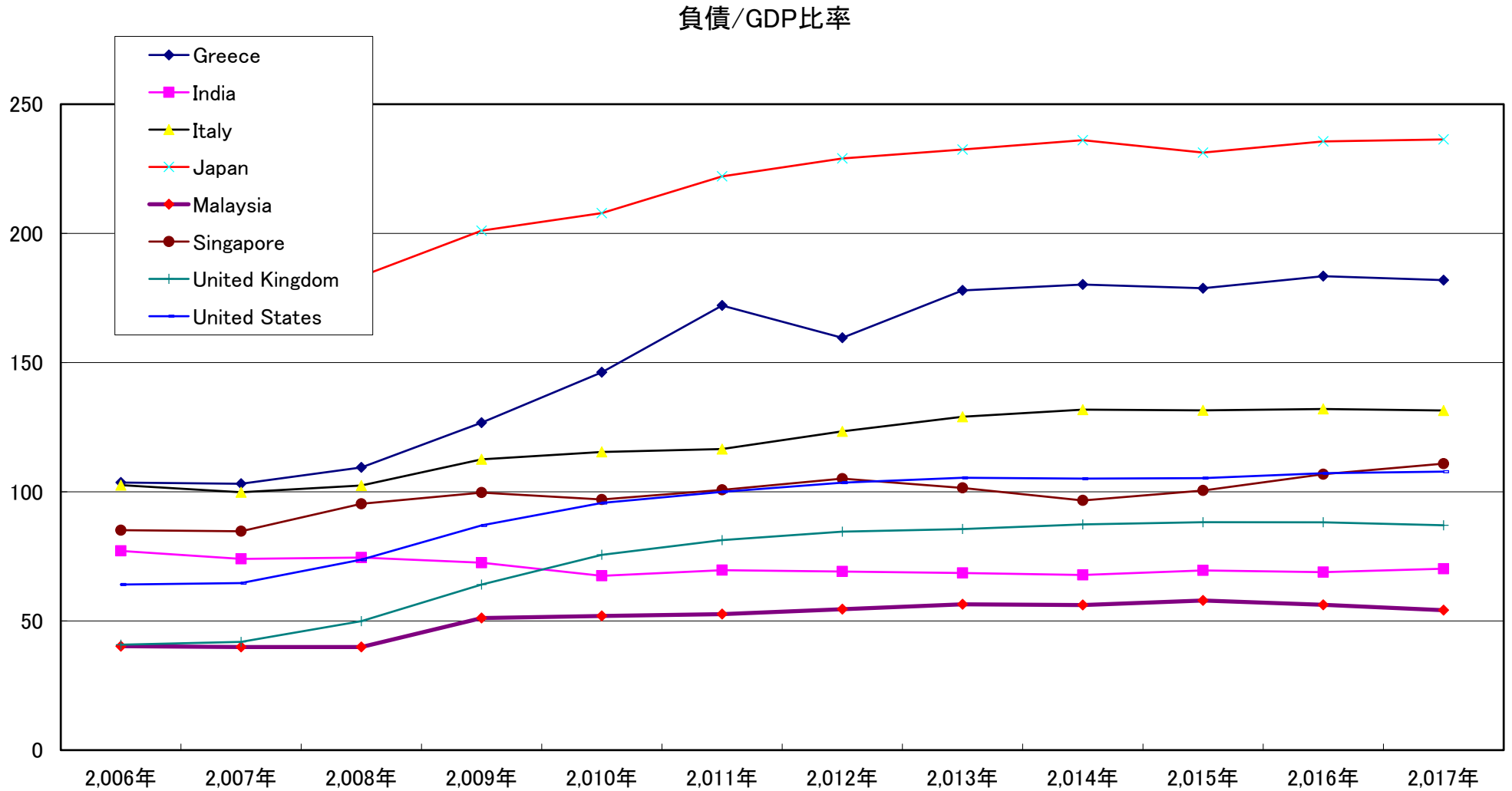


# 図3 失業率、インフレ率

マレーシア インフレ率と失業率



# 図4 マレーシアの債務は深刻か？



IMF WEOにデータがあった「General government gross debt」の各国の推移である。  
マレーシアが極めて健全な常態にあることが理解できる。